

1 ラーニングコモンズに迫る

～近隣他大学のラーニングコモンズ紹介～

近年、大学では、「教員が何を教えたか」ではなく、「学生が何をできるようになったのか」が強く問われるようになってきました。それを支える授業形態の一つが、学生に能動的な学習を促す「アクティブ・ラーニング」であり、このアクティブ・ラーニングを実践する学びの場として、「ラーニングコモンズ」が全国の大学で設置されています。本学においても、5号館3階のサイバーライブラリが9月20日に改修され、アクティブ・ラーニングを行う場として、一部オープンしました。今後、学生と教職員の意見を取り入れながら、2014年4月から本格的にオープンする予定です。

近隣の他大学でも、ラーニングコモンズが次々とオープンしています。本年4月にオープンした関西大学、関西学院大学のラーニングコモンズを見学してきましたので、その様子をご紹介します。

関西大学 のコモンズは「コラボレーションコモンズ」

という名称で千里山キャンパスの学生ラウンジの1階にあります。その目的は、「授業以外での学習を支援する場」として、「関西大学独自の取組みを集結させ、学生たちの活発なコラボレーションを誘発し、学生の『考動力』の育成を目指しています」とされています。コモンズ内は使用する学生の目的や特色に応じて、多目的スペースのコラボレーションエリアと、レポート作成の指導を受けることができるライティングエリア、留学生との交流や留学に関する情報が得られるグローバルエリア、ボランティアエリアなど6つの専門エリアがあります。これらのエリアは、それぞれが主に学生・院生のTAやボランティアで運営されているそうで、勉強にとってよい雰囲気でした。

ライティングエリアでは、文学研究科博士課程の院生が、学部生のレポート



関西学院大学 の神戸三田キャンパスに

新築されたコモンズは「アカデミックコモンズ」という名称で、「知的好奇心や学びたいと思う意欲がかきたてられるアクティビティを学生・教職員が一体となり展開する、『学びのテーマパーク』」となることを目指しています。

「アクティブラーニングゾーン」を中心に、グループ学習用の「アクティブルーム」「プレゼンテーションルーム」「プロジェクトルーム」「クリエイティブスクエア」があり、それぞれの目的にそった多彩な活動支援ツールが備え付けられています。

の添削を行っていました。こちらは、予約なしでレポートを見てもらえるとのこと、毎日、多くの学生が添削を受けているそうです。

上階が学生食堂であることや同じフロアに学生部などの事務室が併設されていることもあり、学生たちの良い意味での「たまり場」になっており、それぞれのエリアが提供するプログラムが一体となって学びの空間を作っており、コモンズ全体で「みんなで一緒に学んでいる」というふうに感じました。



す。「リサーチルーム」では個人による調査・準備が予約なしで行えます。

学習に行き詰ったときには、大学院生中心の「クレセントチューター」がライティングやプレゼンテーションのサポートをしてくれます。また、留学生が講師となる語学カフェや、英語版コミックが配架されているグローバルコーナーもあります。

「アクティブラーニングゾーン」の約半分が飲食可能で、より気軽にコミュニケーションがとれるよう配慮されています。和室「新月の間」では、お茶会や落語など日本の伝統芸能を楽しむことができます。

机上投影型プロジェクターや可動式ホワイトボードを使って、多くの学生がリラックスした雰囲気でグループ議論を進めていました。コモンズを利用している学生たちは、どこか誇らしげで輝いているように感じました。

2

学内FD講演会開催報告 ▶2013年7月30日(火)

53名の教職員が参加しました!

テーマ **Active Learning 入門一步前**

講師 **三浦 真琴** 教授

(関西大学教育推進部教育開発支援センター)

大学教育の質の保証・向上が強く求められているなか、近年、いわゆる「アクティブ・ラーニング」に注目が集まっています。本学 FD 委員会においても、全学的なアクティブ・ラーニングの導入についての議論がなされております。

そこで、今年の甲南大学FD講演会においては、アクティブ・ラーニングに関する理解を深めるため、関西大学教育推進部教育開発支援センターの三浦真琴教授をお招きして、「Active Learning入門一步前」と題してご講演いただきました。



関西大学教育推進部教育開発支援センター 三浦真琴 教授

アクティブ・ラーニングを取り入れるとなると、とかく、「どのようにすれば」それができるのか、というところに関心が向かいますが、その前に「なぜ」進めたいのか、アクティブ・ラーニングとして「何を」進めたいのか、ということ、各大学の環境に合わせて考える必要がある、とのことでした。

すなわち、まず「よい授業」とはどのような授業なのかについて考えることで、従来の授業をなぜアクティブなものにしようとするのかについて自分なりに考える。その上で、(一定の学びのかたちや学びの手法だけをとりえてアクティブ・ラーニングを取り入れたとするのではなく、) 学生が自発的・積極的に知識獲得に動くような授業とは何



か、ということ、各大学が独自に検討し、そして各教員が一人一人考えてその情報を共有することで、その大学・その担当教員ならではのアクティブ・ラーニングを構想し、それを進めていくことがなにより大切である、ということを教わりました。

ご講演の後、フロアとの間で活発な質疑応答がなされ、その後の懇談会では、軽食を取りながら、参加者の間で議論がなされました。

学生が自発的・積極的に知識獲得に動くような授業とは何か?

今年度の **FDワークショップ** 予告
12月21日 開催決定!!

日時 2013年12月21日(土) 14:00 ~ 17:00

場所 甲南大学岡本キャンパス ラーニング commons
(5号館3階サイバーライブラリ内)

申込方法 My KONAN、メールにて申込み

- テーマ **Flipped Classroom** ー学生がイキイキ♪学ぶ授業の作り方ー
- コーディネーター マネジメント創造学部 **パーマー・ロジャー**先生 / **ジョーンズ・ブレント**先生

今回はアクティブ・ラーニングの手法のひとつとして「Flipped Classroom (反転授業)」を学ぶワークショップです。「Flipped Classroom」は課題やビデオの視聴を宿題にして、その内容をもとに授業を進めたりグループワークを行ったりする方法で、知識習得・定着の効率があがると

言われています。今回のワークショップでは、参加者にはあらかじめビデオで学習していただき、予習をして授業に臨む学生の立場を体験します。その後実際にパソコンのソフトやウェブツールを利用してビデオを作成し、「Flipped Classroom」の手法を学びます。みなさまぜひご参加ください!

さらに詳しい情報・報告はホームページへ!

大学トップ ▶ センター・研究所・図書館 ▶ FD ー甲南大学のFDへの取り組みー

問い合わせ先

FD委員会ではFD活動やFDニュースについてご意見・ご要望を受け付けています。
大学企画室 TEL 078-435-2592(内線2812) FAX 078-435-2306 MAIL kikaku@adm.konan-u.ac.jp